

報道関係各位

岩手県立大学 総合政策学部

国連気候変動枠組み条約第29回締約国会議（COP29）開催国 アゼルバイジャン共和国

ギョルセル・イスマイルザーデ駐日特命全権大使による特別講義

開催について

11月11日～22日にアゼルバイジャンの首都バクーで開かれたCOP29は、世界各地で気候変動による深刻な台風や洪水被害が起きる中、未来への対策資金について激しい交渉が行われました。反温暖化主義者の米国のトランプ大統領が来年就任し、パリ協定からの離脱が予想され、国際社会は、あらたなせめぎあいの局面を迎えようとしています。そんな中、開催国アゼルバイジャンは、どんな立ち位置で締約国と向き合ったのか。COP29での決定は、岩手にどんな影響をもたらすのか。イスマイルザーデ大使に、カスピ海の宝石とも呼ばれる同国の魅力とともに語って頂きます。

記

- 1 開催日時 令和6年12月6日（金） 午後1時～午後2時30分
- 2 場所 岩手県立大学 講堂
- 3 演題 **「アゼルバイジャン共和国—COP29での役割を中心に」**
総合政策学部 必須科目「環境と政策」の講義の一環として実施
- 4 対象者 本学 上記講義受講生、その他一般
- 5 留意事項 取材希望社は、前日までに、問い合わせ先の担当教員に取材人員、撮影機材について連絡してください。イスマイルザーデ大使に個別インタビュー希望社は合わせて連絡してください。大使は日本語で取材可能です。

【問合せ先】岩手県立大学総合政策学部 教授 蒲 敏哉 携帯電話 090-4812-0961

メール:toshiya_k@iwate-pu.ac.jp

